

安全・安心・おいしい 牛乳をつくっています！

みずむらひで き

水村英紀さん（糞谷）

水村さんは、市内の酪農家が生乳品質の高さを競う「生乳品質共励会」で 1 等を受賞するなど安全・安心な牛乳の生産を担う酪農家です。

水村家が酪農を始めたのは約 50 年前で、父である重治さんの代からです。当時は所沢市内でも畜産業が盛んで、多くの農家が牛や豚を飼育していました。しかし現在、都市化や後継者不足などの影響もあり、所沢市内の酪農家は 4 軒となってしまいました。

「近年、餌代の高騰や牛乳の販売価格の下落により、酪農業も大変厳しい状況に置かれていますが、消費者のみなさんに良質な牛乳を提供できるように頑張っていきたいです」と水村さんは話します。

水村さんのお宅では常時 42～43 頭の牛を飼育していて、1 日で 20 頭以上の牛から約 680 リットルの生乳を搾ります。同様に入間管内



等で搾られた生乳は、タンクローリー車によって集められ、川越市にある工場へと運ばれます。その後、様々な検査を経て乳業メーカーで製品となります。

このように各地から集められたものを製品にするため、所沢の牛乳のみで製品化することができないことから、水村さんの所属する所沢市畜産協会では、毎年 10 月に開催される農業祭で、市内 4 軒の牛乳のみを集めた「所沢産牛乳」を限定販売しています。「所沢市内にも酪農家がいることを知ってもらい、少しでも牛乳の消費量を増やしたい」と水村さん。普段は味わえない所沢の味を飲み、農業祭に足を運んでみてはいかがでしょうか。

農地の良好な環境保全に取り組んでいます！！

いま、全国の集落で高齢化や混住化が進行して、農地などの資源を守る地域の「まとまり」が弱まっています。市民の環境への関心が高まる中で、良好な農村環境をつくること、



北野地区の様子

環境を重視した農業生産への取り組みが求められています。

こうしたことから、「農地・水・環境保全向上対策事業」を市内 2 地区で実施し、農地の良好な保全と質的向上を図っています。

地元生産農家や市民グループ等の共同により、農地を利用した景観形成・環境保全活動を行っています。

【亀ヶ谷地区】 風食防止・砂埃対策のため、小麦や緑肥作物の栽培を行っています。

【北野地区】 遊休農地の解消を目指し菜の花を栽培し、なたねから油を絞り食用にした後、廃食油の利活用を進め循環型リサイクルに取り組んでいます。